

「こども」であるあなたが 「いま・ここで」幸せに育ち 自分らしく生きていくために

《長野県社会的養育推進計画(後期計画)》(2025～2029年度)

どんな計画？

長野県のこどもが幸せに育っていくために、どのような仕事などをしていけばよいのかを決めた計画で、2020年に作ったものを見直したものです

要するに、何が書かれているんですか？

施設や里親の家で生活するこどもだけでなく、地域のなかで困難な問題を抱えながら家族と生活するこどもたちもサポートするための取組をまとめています

こども自身が持っている「つながり」をできるだけ大切にしたいサポートをしたいということでしたね？

そのとおりです
そうしたサポートのための拠点やサービスも、それぞれの地域で充実させていきたいと考えています

私たちも、計画で決めた取組が、本当に進んでいるかどうかを見ていかなければなりませんね

ぜひ、お願いします

※できれば、計画の本文またはダイジェスト版も見てください

Aさん

長野県

長野県で家族と生活しているこどもの一人

みんなと話し合って計画を作った人

《作成》 長野県 県民文化部 こども若者局
こども・家庭課 児童相談・養育支援室(2025.3)

何を目指しているの？

こどもが人として大切にされ、
安心して育ち、
自分らしく生きられること
(こどもの権利を守ること)

目指すもの
の先にある
ものは？

こどもが現在も、
そしてこの先の未来においても
(おとなになっても)
幸福生活を送ること

「権利」とは「〇〇」すればという条件なしに、「あたりまえに」求めることができるもので、「おとな」だけでなく「こども」にもあるものです

取組に共通
する基本的
な考え方は
あるの？

- ① こどもはできるだけ「家庭で家族の一員として」育つ(家庭養育優先原則)
- ② こどもが「自分をずっと支え、つながっていてくれるおとなとの関係」のなかで育つ(パーマネンシー保障)

ちなみに、②にある「ずっと」は、こどもからみた「ずっと」でなければいけないということでしたね？

そのとおりです
そして、こうした基本的な考え方のもとで、いろいろな取組を進めていきたいと思っています

どんな取組
をしていく
の？

どこにいても

- こどもの思いや意見をきいて、おとながそれにこたえるための仕組みづくり

家庭にいても

- こどもができるだけ元の家庭で育てられるようにするためのサポートができる仕組みづくり

家族から離れても

- ひとりひとりのこどもに合わせた「一時保護」をするための取組
- 「自分をずっと支え、つながっていてくれるおとなとの関係」を見つめられるためのサポート
- できるだけ家庭と同じ環境である里親の家・ファミリーホームで生活できるようにするための取組
- 施設が、こどもが求めるもの、時代や地域が求めるものにあわせて形や働きを変えていくこと、すなわち「進化」するための取組

おとなになっても

- 施設や里親の家などで生活したことがある人たちが自立できるようにサポートするための取組

その他

- 児童相談所の働きをさらに高めるための取組
- この計画を知ってもらうこと、そしてこの計画を進めていくための人を育て、増やしていくための取組

いろいろな取組を進めていくようですが、私たちは何を見て(感じて)いけばよいでしょうか？

本当は、もっとたくさんあるんですが、例えば、こんなところを見て(感じて)もらえればと思います

こどもたちに見て(感じて)ほしいところは？

- ◆ あなたには「自分をずっと支え、つながっていてくれる」と感じられるおとなが一人でもいますか？
- ◆ あなたをサポートしているおとなは、この計画を正しく理解して、サポートしてくれていると思いますか？